

実践記録 シリーズ

63

「ふるさと牧村塾」その後

牧村公民館 係長 長瀬 一成

1 はじめに

牧村は、東頸城丘陵の西端にある小規模村です。

公民館は、中央館1館ですべての社会教育事業を実施しています。

公民館周辺には、牧保育所、牧小学校、牧中学校があり公民館に併設して村民体育館、村民プールなどがあります。

2 「ふるさと牧村塾」

平成10年度に生涯学習推進計画を策定したのと、6年の歳月をかけて刊行した「牧村史」の活用を兼ね「ふるさと牧村塾」をスタートしました。

温故知新を旨としこれからの村をみんなで考える場として成人を対象として取り組みを始めました。

3 事業の展開

スタート段階では、まず村の歴史、これまでの数々の事業の取り組みを村史編纂に携わった編集委員の先生方を講師にお願いし、それぞれの分野からわかりやすく説明を頂き、先人たちの郷土にかけ熱い思いやひたむきな努力を知ることができました。

まず村を知り現在を考え将来に向けて一貫した内容で「ふるさと牧村塾」を展開することとしました。



ワークショップ

2年目以降は学習内容を「いま行政では」を主体として各課から行政課題を持ち寄って、それらの取り組みや住民主体の事業展開など講師を交えて月に1回、土曜の午後公民館を会場に実施してきました。

これらの取り組みは、各課がそれぞれ担当し参加意識と生涯学習への理解を盛り上げる意味もありました。

平成13年度までは、現在を考える内容で展開したところで内容もマンネリ化し参加者も少なくなってきました。

4 その後

そこで、平成14年度からは、内容をリニューアルし身近な問題となった市町村合併を研究課題として進めることとしました。

いま一番身近な問題としての内

容であり、また行政側からも住民の考えを聞きお互いがどうあったらよいか、合併後の地域づくりはどうあるべきか等をみんなで考えあう機会にしました。

若者も参加しやすくなるよう平日の夜も日程に組み入れ、学習会の内容や進め方、依頼する講師陣など充分検討を重ねました。

一方的な講演にせず、問題の提起にあわせワークショップを交互に入れながら実施しました。

初回は、塾長の村長から「合併に向けての地域づくり」と題した講演と、上越市創造行政研究所の方を講師に迎え、合併に向けての方向性をいろいろな角度からシミュレーションし進めました。

東頸城振興事務所からは、郡内での地域づくりの実践例や県が進めている事業などを紹介してもらいました。

また、県内でも多くのNPO法人の組織がある上越市の「くびき野サポートセンター」から、NPO法人の立ち上げから活動の内容などを指導いただきました。

5 今後の課題

地域の身近な問題を取り上げ、共通の理解で学習することが大切であることを実感しています。

平成14年度 ふるさと牧村塾 学習計画表

回	日程等	学習法等
1	平成14年12月14日(土) 午後1時30分～	開塾式 「合併に向けての地域づくり」…中川村長 「これからの上越と地域づくり」…上越市創造行政研究所 渡来様
2	平成14年12月19日(木) 午後7時00分～	ワークショップ (第1回の講演会から) 進行……公民館・総務課職員
3	平成15年1月16日(木) 午後7時00分～	講演会 「東頸城各町村の地域づくり」 講師……安塚地区振興事務所 様
4	平成15年1月25日(土) 午後1時30分～	ワークショップ (第2回の講演会から) 進行……公民館・総務課職員
5	平成15年2月13日(木) 午後7時00分～	講演会 「地域づくりとNPO」 講師……くびき野のサポートセンター 大島 誠 様
6	平成15年2月22日(土) 午後1時30分～	ワークショップ (第3回の講演会から) 進行……公民館・総務課職員
7	平成15年3月8日(土) 午後1時30分～	閉塾式 平成14年度「ふるさと牧村塾」をふりかえって